

藤井新王位

最年少二冠、八段

将棋の高校生棋士、藤井聡太棋聖(一八)が二十日、福岡市であった第六十一期王位戦(中日新聞社主催、伊藤園協賛)七番勝負の第四局で木村一基王位(四七)に勝ち、史上最年少で二



藤井聡太新王位

つ目のタイトルを奪取した。「タイトル二期獲得」の規定も満たし、最年少で八段に昇段した。藤井新王位は十七歳十一カ月だった七月十六日、棋聖戦で勝ち、タイトル獲得の最年少記録を塗り替えたばかり。二冠を成し遂げたのは十六人目だが、高校生では初めて。七番勝負は七月一日に愛知県豊橋市で開幕。札幌市や神戸市を転戦し、藤井新王位が無敗の四勝でシリーズを制した。

王座

1966年に創設された83年度の第31期からタイトル昇格した1次予選から本戦まで全てトナメントの発勝負。2次予選で勝ち抜いた棋士はシード棋士の計16人が、挑戦権を賭けて本戦トナメントを戦う。日本経済新聞社主催。

タイトル戦の概要
1日制5番勝負で持ち時間各5時間
藤井二冠の戦況
6月の2次予選決勝で同期のライバル大橋貴光に敗れ、本戦入りを逃した。

叡王

プロ棋士と将棋ソフ源とする棋士を起し、7年度からタイトル戦に昇格した。段位ごとの予選の優勝者が本戦トナメントに進む。番勝負は対局者きな持ち時間を確保する。ニクナスタイルドゥンコ主催。

タイトル戦の概要
1日制7番勝負で持ち時間は変動
藤井二冠の戦況
昨年8月の予選で村山慈明七段に負け、2回戦で敗退した。

永瀬 拓矢(27)

将棋界トップクラスの努力家として知られる。徹底的に守って競り勝つ個性的な棋風が「根絶やし流」と評され、対照的な棋風の藤井二冠を研究の相棒にしている。棋道を追究する厳しい姿勢から、愛称は「軍曹」。実家はラーメン店を営み、対局中はバナナで栄養補給する。タイトル獲得通算2期。横浜市出身。

藤井聡太の冠への道

藤井聡太新王位(一八)棋聖と合わせ二冠の誕生で、将棋界は、八つのタイトルを四人の棋士に分ける構図になった。一九九〇年代、永世七冠の王者、羽生善治九段(七)が全冠(当時七タイトル)を独占した時代を経て、この年ほどは、多くの棋士がタイトルを分け合う「戦国時代」といわれた。群雄割拠の勢力図を塗り替え、天下統一を狙う藤井二冠の現状と、挑む頂をあらためて紹介する。(岡村淳司)

竜王

1980年創設と歴史は浅いが、優勝賞金が将棋界最高の240万円(八大会)で最も序列が高い。本戦は上位クラスの棋士が有利な変則トナメント。賞金を公開している唯一のタイトル戦で、番勝負で敗れても1650万円の賞金がある。読売新聞社主催。

タイトル戦の概要
2日制7番勝負で持ち時間各8時間
藤井二冠の戦況
本戦トナメント出場も、7月の初戦でベテランの丸山忠久九段に敗れた。

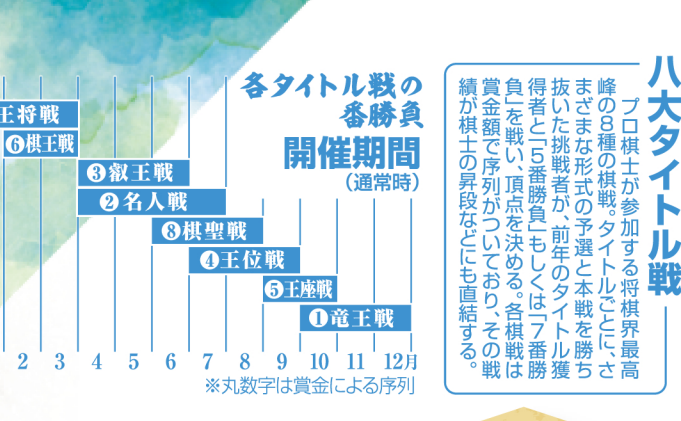
豊島 将之(30)

【とよしま まさゆき】初タイトルを得るまで苦労したが、東海地方出身者で初めて名人になった。バランスの取れた棋風で、藤井二冠には公式戦で4勝0敗。最近では棋士が集まる研究会などに参加せず、将棋ソフトで独自に腕を磨く。女性ファンを増やした立役者ともいわれ、愛称は「きゅん」。タイトル獲得通算4期。愛知県一宮市出身。

王将

タイトル戦に参入した棋士は、名人に次いで歴史が長い。トナメントの1次2次予選を突破した棋士とシード棋士の計7人が総当たりでリーグ戦を行い、各局で勝者が現地にちなむ衣装を着て記念撮影するのが恒例。毎日新聞社主催。

タイトル戦の概要
2日制7番勝負で持ち時間各8時間
藤井二冠の戦況
前期の本戦で好成績を挙げてシード権を獲得。秋からの本戦に再登場する。



王位

1960年創設。予選トナメントを勝ち抜いた棋士がシード棋士の計12本戦リーグに参加。各組トップの棋士が挑戦者を決める。高段者への優勝は、一級二段以上の棋士は2次予選から出場する。産経新聞社主催。

タイトル戦の概要
2日制7番勝負で持ち時間各8時間
藤井二冠の戦況
7番勝負で木村一基前王位を破り、二つ目のタイトルを獲得した。

棋聖

1994年度までは年2回の開催だった。早指し棋戦の流れをみ、持ち時間が1次予選で各1時間、2次予選で各3時間と短いのが特徴。初めて番勝負に1日制を導入した。本戦までは全てトナメント。順位はB級2組以上の棋士は2次予選から出場する。産経新聞社主催。

タイトル戦の概要
1日制5番勝負で持ち時間各4時間
藤井二冠の戦況
7月に5番勝負で渡辺明三冠に勝ち、史上最年少でタイトルを獲得した。

藤井 聡太(18)

【ふい そうた】5人目の中学生棋士としてデビュー。いきなり29連勝し、歴代連勝記録を塗り替えた。棋聖戦でタイトル獲得の最年少記録も更新。詰め将棋で鍛えた読みの力を武器に、果敢に敵陣に踏み込む攻撃型の棋風でファンを魅了する。数学が得意な高校生で、鉄道やパソコンに詳しい。タイトル獲得通算2期。愛知県瀬戸市出身。

名人

400年の歴史がある。名人の称号を懸けた最も伝統がある棋戦。C級2組からA級まで5段階の順位リーグで、A級の優勝者が挑戦権を獲得する。昇格は1年に1段階ずつ。挑戦者になるには5年かかると最短でも毎日新聞社主催。

タイトル戦の概要
2日制7番勝負で持ち時間各9時間
藤井二冠の戦況
今回は上から3番目のB級2組に所属。全10戦のうち3戦目まで連勝中。

※敬称略